

境界線 で遊ぶ 川島小鳥展

過去から未来へ。
次の場所へと変化
するときに通過す
る不思議な時間、
境界線。ここでも
そこでも、どちら
でもない場所。



アートコミュニティ・ギャラリー
金津創作の森

2017年 1月21日(土)～3月5日(日) 休館日=月曜日 時間=10:00～17:00(最終入場 16:30)

観覧料=一般 800円(20名以上の団体料金は1人600円)、障がい者及び65歳以上400円、高校生以下無料 障がい者の介護者(当該障がい者1人につき1人)無料
問い合わせ先=(公財)金津創作の森財団 〒919-0806 福井県あわら市宮谷 57-2-19 TEL. 0776-73-7800 FAX. 0776-73-7805 <http://sosaku.jp/>

主催
(公財)金津創作の森財団
共催
あわら市、あわら市教育
委員会、福井新聞社
後援

(公財)福井県文化振興事
業団、北國新聞社、FBC
福井放送、福井テレビ、
FM福井、福井ケーブル
テレビ・さかいケーブル
テレビ、(一社)あわら市
観光協会、月刊URALA
編集室、(株)金沢倶楽部
アートディレクション=

祖父江慎 音楽監修=クラウ
ド・ルー 協力=金氏徹平
企画協力=有限会社コズフィ
ッシュ プレイガイド=福井
新聞社読者センター

境界線で遊ぶ 川島小鳥展

過去から未来へ。次の場所へと変化するときを通過する不思議な時間、境界線。ここでも、そこでも、どちらでもない場所。

……小鳥さんの眼に映ってるのって、数秒先の景色なんじゃないかなと思えてくる。だって、気がついてからシャッターを切っていたんじゃ、その瞬間に間に合わないでしょ？ だから、そんな不安と希望が同居する小鳥さんの写真を一枚一枚見ていると、その前後の物語がかってによみがえってきちゃうんですよ。 — 祖父江慎 (本展アートディレクション)



©Ryuichi Ishikawa

川島小鳥

Kotori Kawashima

写真家。1980年生まれ。早稲田大学第一文学部仏文科卒業。写真集に『BABY BABY』『未来ちゃん』『明星』など。第42回講談社出版文化賞写真賞、第40回木村伊兵衛写真賞を受賞。12月7日、最新作『ファーストアルバム』を発売。12月15日より、池袋バルコにて、同作品の発売を記念した写真展『ファーストアルバム』～銀杏BOYZと川島小鳥と池袋バルコ～を開催。



*上段 写真集『明星』(2014年)、下段左から写真集『未来ちゃん』(2011年)、作品集『おやすみ神たち』(2014年)、写真集『RUNRUN まこと』(2011年)、『20歳の頃』(2016年)、表1メインビジュアル: 写真集『ファーストアルバム』(2016年)
©Kotori Kawashima

本展の展示や川島小鳥さんの写真の魅力について「未来ちゃん」のデザインなどでおなじみ祖父江慎さんとお話いただきます。

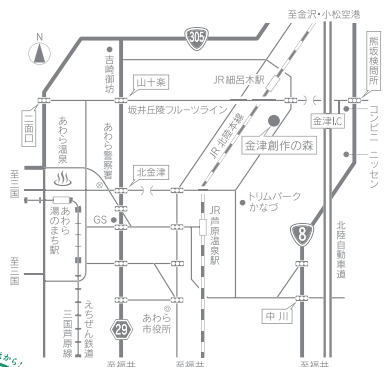
オープニングトーク

川島小鳥 × 祖父江慎 (ブックデザイナー / 本展アートディレクション)

日時 1月21日(土) 14:00-15:00 開場 13:30

会場 アートコアミュージアム-2 定員 200名 (全席自由・要展覧会観覧券) ※未就学児の入場はご遠慮ください。
問い合わせ先 (公財) 金津創作の森財団 〒919-0806 福井県あわら市宮谷 57-2-19 TEL.0776-73-7800 FAX.0776-73-7805

主催 / (公財) 金津創作の森財団 共催 / あわら市、あわら市教育委員会、福井新聞社 アートディレクション / 祖父江慎
後援 / (公財) 福井県文化振興事業団、北國新聞社、FBC 福井放送、福井テレビ、FM 福井、福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、(一社)あわら市観光協会、月刊 URALA 編集室、藤金沢倶楽部 企画協力 / 有限会社コズフィッシュ 音楽監修 / クラウド・ルー 協力 / 金氏徹平 プレイガイド / 福井新聞社読者センター



アクセスマップ

- 北陸自動車道 金津 I.C から車で 5 分
- JR 芦原温泉駅からタクシーで約 10 分

